主催事業のご案内

中央公民館［東長沼］（生涯学習課）
☎042－377－2121
FAX042－379－0491

第二公民館［矢野口］
☎042－378－0567
FAX042－378－0568

第三公民館［平　尾］
☎042－331－0230
FAX042－331－0229

第四公民館［東長沼］
☎042－377－4406
FAX042－377－4488

城山公民館［向陽台］
☎042－379－5411
FAX042－379－5288

郷土資料室［平尾］
☎&FAX042－331－0660

野村不動産いなぎアリーナ（総合体育館）
☎042－331－7151
FAX042－331－7181

稲城長峰ヴェルディフィールド
☎042－401－3960
FAX042－401－3961

スポーツ推進課
☎042－378－2111
FAX042－379－3600

なるべく公共交通機関をご利用ください。

委員会の動き

■社会教育委員の会議
第10回定例会＝3月10日
稲城のいいところを未来へ繋げるためにできること
【問合せ】生涯学習課

ひろばの原稿のオンライン受付を開始します

生涯学習だよりひろばでは、掲載希望原稿を既定の原稿用紙（紙提出）で受け付けていましたが、新たにパソコンやスマートフォンで原稿を提出できるようになります。

要件

会員募集及び催し物の記事を掲載することができる団体は次のとおりです。

1. 公民館の利用者登録を有する社会教育関係団体
2. 体育施設の利用者登録を有する社会教育関係団体
3. 学校施設の使用許可書を有する社会教育関係団体
4. 学校体育施設の団体登録を有する社会教育関係団体
5. 生活文化施設の利用者登録を有する社会教育関係団体
6. 城山体験学習館の利用者登録を有する社会教育関係団体
7. 稲城市の区域内に存する公共施設またはこれに類する施設において活動する社会教育関係団体であって、構成員の名簿、規約、財務関係書類、その他の教育長が指定する書面を提出した団体
8. 市内に事務所を置き市内で社会教育活動を行う特定非営利活動法人（催し物の記事に限る）
9. 市内に所在する教育機関及びこのPTA関係団体（催し物の記事に限る）
10. 稲城市教育委員会が後援する事業を主催する社会教育関係団体（市内で実施する催し物の記事に限る）

提出方法

①オンライン提出
要件に該当する団体は、右記二次元コードの該当する申込フォームからご提出ください。

②紙提出
利用者登録または団体登録をしている施設にご提出ください。
要件7、8、9、10に該当する社会教育関係団体は、生涯学習課へご提出ください。

注意事項

- 紙面の都合により、原稿を一部変更又は削除することがあります。
- 希望原稿が多い場合、翌月以降の号の掲載になることがあります。
- 原稿受付後、審査の結果掲載できないこともあります。
- 原稿提出が掲載をお約束するものではありません。

▷問合せ　生涯学習課

市民団体情報ステーション

市Webにて、団体が行う自主的な活動やイベント等の取り組みを掲載できる「稲城市市民団体情報ステーション」を公開しています。
団体のPRや会員募集、イベントの告知等にご活用ください。
▷問合せ　秘書広報課

郷土資料室だより㉟

多摩川の暮らしと船大工

多摩川と隣接する稲城市は昭和中頃まで様々な川船を使った暮らしが見られました。
多摩川流域では、橋が架かる以前に渡し船によって往来を行った「渡船場」がありました。上流から下流に至るまで約40ヶ所のうち、市内では「是政の渡し」「押立の渡し」「矢野口の渡し」の3ヶ所がありました。また、多摩川の砂利は古くから道路の普請などに利用されており、江戸時代から砂利船を使った砂利採掘が盛んに行われていたことで知られています。川漁や渡船、砂利採掘では昔から木造の川船が使われ、これらの川船の造船は専門の船大工が行っていました。
郷土資料室には大正10年頃から平成2年の間に川船を造り続けた多摩川流域最後の船大工・故久保井冨蔵氏が川船造りに使用した船大工道具と川船の模型が展示されています。これらの資料は多摩川をめぐる生業・交通・行楽と密接な関係にあった川船の造船技術を伝える資料であり、多摩川中流域の生活や文化を考えるうえで、欠くことのできない重要な文化財であることから令和2年3月16日に東京都の有形民俗文化財に指定されました。

◇　◇　◇

郷土資料室
▽場所　ふれんど平尾
▽開館　午前9時～午後5時
▽休館日　月曜日、年末年始
▽問合せ　郷土資料室

市民ギャラリーのご案内

▼会場　市役所1階ロビー　▼問合せ　稲城市芸術文化団体連合会　☎070（5555）0889
▼期日・出展者　展示中～4月3日(金)　清水典夫(陶芸)　4月6日(月)～5月1日(金)　山本清美(デジタルイラスト)

あつまれ稲城長峰ヴェルディフィールド

スポーツ教室の参加者を募集します。
▽会場　稲城長峰ヴェルディフィールド
▽内容　下表のとおり
▽持ち物　参加決定通知または
▽申込方法　Webにてご確認ください。
Webの申込フォームまたは窓口で直接申し込み※
▽申込多数の場合抽選
▽主催　東京ヴェルディグループ
▽申込・問合せ　稲城長峰ヴェルディフィールド

稲城長峰ヴェルディフィールド

教室名	期日	時間	対象	定員	参加費	申込期限
一般開放個人参加　フットサル（サッカー場）	3月21日(土)	午後5時～7時	満16歳以上の方	30人	500円	開催日の前日
長峰グラウンドゴルフ交流会	4月3日(金) 17日(金)	午前9時～11時	どなたでも	50人	1回300円	当日まで受付可
一般開放個人参加　フットサル（フットサル場）	4月4日(土) 18日(土)	午後5時～7時	満16歳以上の方	30人	1回500円	開催日の前日
レディースミニサッカーDAY	4月9日(木)	午前9時半～11時	女性	20人	800円	3月31日(火)
小・中学生個人参加フットサル	4月9日(木)	午後7時～8時	小学4～6年生	20人	300円	開催日の前日
		午後8時～9時	中学生	20人		
長峰ソサイチ大会	4月29日（水・祝）	午前9時～午後1時	満16歳以上の7～12人で構成されたチーム	8チーム	1チーム12,000円	4月22日(水)

※教室は申込制となります。申込フォームまたは直接管理棟受付でお申込みください。（グラウンドゴルフのみFAX可）
※雨天及びキャンセルが相次いだ場合、開催を中止することがあります。
※申込フォームは稲城長峰ヴェルディフィールドWeb「教室・イベント」ページにあります。（Webの教室情報は毎月15日に更新予定です。）

総合型地域スポーツクラブ　iクラブ

【参加申し込みについて】
▶申込期間　**毎月16日の正午から各開催日の3日前まで。**
体験は希望日を明記してください（先着順）。
▶申込　iクラブWeb https://www.inagi-iclub.org/
▶問合せ　✉info@inagi-iclub.org
☎331-8866（火～金　正午～午後4時）
参加申込

【子ども向け事業の募集】　iクラブWeb（右記）にて、詳しい内容をご確認ください。
Web内「お問い合わせ・参加申込フォーム」から申し込みができます。
申込受付は3月16日（月）正午からです。

- **キッズダンス教室**　リトル・ジュニア・アドバンス　クラス　日程：火曜日　講師：木谷 将紀氏（BLACK JOKEメンバー）
- **親子体操教室**　わんぱく（年少児と保護者）クラス　日程：水曜日　講師：中嶋 佳代子氏（公益法人日本スポーツ協会 体操コーチ）
- **チア教室**　年少・年中・年長・小1・小4クラス　日程：木曜日　講師：新木 るり氏（幼児体育指導者）他
  中学生・高校生以上クラス　日程：木曜日　講師：KOZU氏

事業名・内容	詳細	会場	講師	持ち物
4月ボルダリング **・スクール（通年コース）** **・教室（月ごとコース）** **・安全講習兼体験会**	iクラブWebのボルダリングページ（右記）で、内容をご確認ください。申込みは同ページ内「ボルダリング参加申込み」からお願いします。	野村不動産いなぎアリーナ（総合体育館）	一般社団法人JAPAN OUTDOOR LIFE（JOL）指導員	運動できる服装 室内用運動靴 飲み物 タオル
4月ボルダリング **・個人開放** 教室または安全講習兼体験会（上欄）を受講し、修了証のある方が利用できます。	**個人開放は当日野村不動産いなぎアリーナ1Fで受付**となります。 詳しくは、右の二次元コードでご確認ください。		指導員はつきません	

放課後子ども教室で将棋プログラムを実施しています

市立小学校全校で実施している放課後子ども教室では、定期的に将棋にまつわるプログラムを実施しています。
2月4日(水)には稲城第六小学校放課後子ども教室で、第六小学校学童クラブの児童を招いて「楽しい将棋の時間」を実施しました。
将棋にあまり触れたことのない児童はルールを覚えながらみんなで遊べる「トランプリレー将棋」に挑戦。はじめに道具の大切さ、挨拶の大切さ、将棋の初歩的なルールやトランプリレー将棋のルールの説明を受け、児童チームvsスタッフでの対局をおこないました。動かし方が分からない児童は動かせる場所を教わりながら指しました。最後まで頑張って、児童チームが見事勝利しました。
将棋経験のある児童は1対1での自由対局を楽しみました。児童同士、スタッフとの対局など、合同プログラムだからこそ普段とは違う相手と対局ができました。どの児童も集中してじっくり取り組むことができ、将棋を通して充実した時間を過ごすことができました。
▷問合せ　生涯学習課